

1. 単元名 校内発表会に向けて**2. 本時の概要**

本時は、校内発表会に向けた最終的な準備段階として位置づけられる。主な活動は、10月の学習状況を振り返る「LIFEログ」の作成、プレゼンテーション技術の習得、および発表用スライドの物理的な制作(貼り合わせ作業)である。設定の理由として、まず「LIFEログ」を通じて自身の探究プロセスを言語化し、メタ認知を促す必要がある。次に、発表会本番を見据え、単に資料を見せるだけでなく、「目線」「声」「スピード」「時間」といった具体的な評価項目を意識した表現力を養うことが不可欠である。NHKの映像教材を活用することで、質の高いプレゼンテーションのイメージを具体化させる。さらに、アナログ掲示による発表を想定し、スライドを適切な順序と間隔で連結させる作業を行う。この際、後の保管(A3サイズへの折りたたみ)まで考慮した作成技術を習得させることで、実務的な準備を完結させる。これらの活動を通して、生徒が自身の探究成果を自信を持って他者に伝えるための基盤を整えることを目的とする。

3. 本時の目標

- **LIFEログの意義と方法の理解:**「LIFEログ」の意義とループリック(レベル3)を理解し、日々の体験から自己の成長や課題を言語化する「成長に繋がる振り返り」を記述できるようになる。
- **プレゼンテーションスキルの理解:**映像教材の視聴を通して、聞き手を意識した発表の要点を理解し、自身の発表における具体的な改善目標を「探究シート」に設定できる。
- **発表資料の適切な作成:**提示順序を正しく把握し、正確に貼り合わせ、発表準備を完了させることができる。

4. 本時の準備・使用教材・参考文献

- 教員用提示資料:
 - 授業スライド 第18回
- 使用教材(副教材):
 - 岡本尚也(2024)『ゼロから始める探究活動 課題研究メソッド ZERO』新興出版社啓林館
 - NHK『プレゼンテーションのしかた|アクティブ10 プロのプロセス|NHK for School』
https://edu.web.nhk/school/watch/bangumi/?das_id=D0005180399_000_00#in=0&out=259 アクセス年月日2025年11月1日

5. 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
【1時限目】		
1分	本時の内容説明 ・本時の流れ(LIFEログ、プレゼン&スライドの貼り合わせ、今後の予定)について全体像を把握する。	・本時のゴールが「スライドの貼り合わせ完了」であることを明示し、見通しを持たせる。
9分	LIFEログの作成 ・スクールタクトの「10月」の課題を開く。 ・自動調整機能を活用し、4～5行程度を目安に今月の活動を振り返って記述する。	・文字サイズは変更せず、内容の充実に集中させる。 ・記述量が多い生徒には、ページの複製機能を案内して柔軟に対応する。
10分	プレゼンのコツの理解 ・NHKの映像を視聴し、探究シートの空欄を埋める。 ・「目線」「声」「スピード」「時間(3分±10秒)」の4項目を意識し、自身の目標を言語化する。	・映像視聴中はワークシートの記入を並行して行うよう指示する。 ・個人の目標記入には2分程度の時間を確保し、具体的に書けるよう巡回指導する。
29分	スライドの貼り合わせワーク ・全6枚(またはそれ以上)のスライドを番号順に並べる。 ・後の折りたたみを考慮し、1～2mmの間隔を空けてセロハンテープで連結する。	・紙をぴったり密着させると折れなくなるため、必ず隙間を空けるよう徹底させる。 ・完成後にA3サイズにきれいに折りたためるか確認させる。
1分	今後の予定確認 ・探究Day見学、発表練習、本番、テーマ別発表会の流れを確認する。	・次回の活動までに必要な準備を明確にする。 ・本時の成果物であるスライドが適切に保管されているか確認する。